

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	地理歴史科	科目	地理A	学年	1
担当者	A～C、E～F組:米谷友規 D組:柿崎文雄			単位数	2
使用教科書	『高等学校 地理A』(帝国書院) 『新詳高等地図』(帝国書院)				
使用教材	『最新地理図表GEO』(第一学習社)				
教科・科目の指導目標	◆地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 ◆現代世界の地理的な諸課題を、地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的な認識を養う。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5日	1学期中間考査	地球上の位置と国家① 地球上の位置と国家② グローバル化が進む世界① グローバル化が進む世界② 人々の生活と地形①	<ul style="list-style-type: none"> ◆地上の現象と地球上の位置について理解する。経度の違いと時差について、演習問題を通して理解する。 ◆球面と平面の世界について理解する。 ◆国家の領域と国境、領土問題について考察する。 ◆世界を結ぶ交通・通信について図表を用いて理解する。 ◆拡大する世界の貿易について学ぶ。 ◆観光の国際化と人々の移動について図表を用いて考察する。 ◆地形を形成する外的営力・内的営力について、その原動力と作用を理解する。 	12
6月5日	1学期期末考査	人々の生活と地形② 人々の生活と気候① 人々の生活と気候② 人々の生活と気候③ 人々の生活と気候④	<ul style="list-style-type: none"> ◆河川がつくる山地・平野の地形の種類とその特徴について理解する。 ◆気候の特徴と人間生活のかかわりについて考察する。 ◆気候は、気候要素から構成されていることを理解する。 ◆ケッペンの気候区分とその分布の特徴を理解する。 ◆各気候区の特徴と特徴、植生・土壌を理解する。 ◆熱帯・乾燥帯の気候と人々の生活について考察する。 ◆温帯の気候と人々の生活について考察する。 ◆亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活について考察する。 	12
7月5日	2学期中間考査	生活を支える世界の農業 生活を支える世界の工業 人々の生活と文化	<ul style="list-style-type: none"> ◆農業の発達と目的農業・商業的農業について理解する。 ◆企業的農業や農業の国際化について考察する。 ◆工業の発達と種類について理解する。 ◆先進国と発展途上国でさかんな工業の特徴とその変化について理解する。 ◆生活と宗教・言語のかかわりについて理解する。 ◆生活・文化のグローバル化について考察する。 ◆中国の生活・文化について理解する。 ◆韓国の生活・文化について理解する。 ◆東南アジア・インドの生活・文化について理解する。 ◆中央アジア・西アジア・アフリカの生活・文化について理解する。 	14
10月5日	2学期期末考査	世界の諸地域の生活・文化① 世界の諸地域の生活・文化② 世界の諸地域の生活・文化③ 世界の諸地域の生活・文化④ 地球的課題と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ◆ヨーロッパの生活・文化について理解する。 ◆ロシアの生活・文化について理解する。 ◆アメリカ・ラテンアメリカの生活・文化について理解する。 ◆オーストラリアの生活・文化について理解する。 ◆世界の環境問題、資源・エネルギー問題について考察する。 ◆世界の人口問題・食糧問題について考察する。 	14
12月5日	学年末考査	身近にあるさまざまな地図① 身近にあるさまざまな地図② 日本の自然環境と防災① 日本の自然環境と防災② 身近な地域の課題と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近な地図とその特色について理解する。 ◆GISのしくみを支える技術について理解する。 ◆GIS技術の活用と地図について、地形図を活用して理解する。 ◆日本の自然環境について諸資料を用いて理解する。 ◆火山・地震被害と防災について過去の事例から考察する。 ◆風水害と防災について過去の事例から考察する。 ◆身近な地域の防災について考察する。 ◆地域を調べる課題の設定をする。 ◆課題の調査方法を学習し、調査内容の発表活動を行う。 	18

評価の観点・方法	◆定期考査に基づき、平常点を加味して評価する。 ◆平常点は、プリントの記入状況・演習問題・小テスト・時事問題研究発表、授業への取り組み、出欠状況などによる。
----------	---